



日本共産党市議員 かたやなぎ 進 片柳すすむ 市政報告

発行
日本共産党
川崎市議員団
川崎区宮本町1番地
第2市庁舎7階
TEL 200-3360
FAX 245-4140
その他の連絡先
TEL 246-6823

決算特別委員会
総務委員会質問

中学校給食で異例の4日間にわたる審議 —総務委員会—

「安全安心の中学校給食」への改善を要求

今月号の内容

- 1面
- ①安全安心の中学校給食
 - ②特定業務委託の賃金引上げを
 - ③福祉用地の取得を
 - ④住民要望実現
- 2面
- ①中学校給食の審議を傍聴して／市民の声
 - ②体育館の施設開放有料化
 - ③総務委員会より・マイナンバー
 - ④コラム

9月17日と25日、片柳すすむ市議は決算特別委員会・総務分科会で質問を行いました。総務委員会の内容とあわせてご報告します。

安全安心の中学校給食へ —開始までに課題の解決を—

総務委員会で行われた中学校給食の実施に向けた「南部給食センター」の契約議案の審議は、連休をまたいで4日間にわたるといふ異例の事態になりました。

理由は、第一に福田市長が、時期市長選挙直前の2017年9月に中学校給食を開始することになったため無理な計画となったこと、第二に「中学校給食を実施すること、他の大規模事業が遅れるのではないか」など、他会派が大規模開発推進を優先視した財政論に固執したことです。

共産党市議団は、安全安心のおいしい給食を提供すること、20年来の市民運動の到達点を生かすことを基本に置き徹底した議論を尽くしました。



南部給食センター建設予定地
(幸区南幸町3丁目)

その結果「配送ルートの変更」「エレベーターの使用」「配膳員の配置」などについて「検討する」との教育委員会の答弁があり、副市長も「中学校給食の所要額は見込んでおり、このことが財政を特に圧迫するものではない」「中学校給食については、運用上改善すべきことはやっていきたい」と約束しました。

日本共産党は、二年後の給食実施までに教育委員会の責任で課題の解決・改善をしていくこと、将来に自校調理方式に変更していく余地を残すことなどをしっかり求めた上で、この議案に賛成しました。より良い中学校給食のために今後も力を尽くします。

特定業務委託の賃金— 最低でも、時給1000円 に引き上げを

片柳すすむ市議は9月17日の決算審査特別委員会・総務分科会で、学校給食調理業務委託について質

問し、市内の給食調理員が、最低賃金ギリギリの時給887円で募集されている実態を指摘。中学校給食の開始を前に食の安全を保障するためにも、労働条件を保障するべきと求めました。

さらに「妻が病気のため、家事・育児にも時間が取られ、家電を買い替える余裕もない。子どもの将来が心配」という市の委託業務労働者の実態を示し、最低報酬下限額を少なくとも時給1000円にし、さらに税金等を払って子育てするために時給1400円以上に引き上げる必要があると質し、「今後の賃金上昇をより一層考慮しながら予算の確保に努める」との答弁を引き出しました。

大型開発の用地に巨額の費用を投じる姿勢を改め福祉用地の取得を

9月25日開催の同分科会で、片柳議員は、川崎市の用地取得のあり方について質問。

開発誘致関係の用地については次々に取得する一方、福祉用地はほとんど取得していない事実を指摘、あまりにも用地取得のあり方が偏っていると批判しました。

また川崎区京町1丁目の県有地の特養ホームの建設計画について、土地の取得や建物の解体で9億円超の負担を社会福祉法人に求めたために応募がなく、売却の方向

となったことを厳しく批判。大型開発用地ばかりに巨額の費用を投じる姿勢をあらため、特養ホームなど、福祉や教育関連の用地取得をすすめるよう迫りました。

また県が県有地を市町村に貸与する際の「3年度につき1市町村に1箇所のみ」「貸付額は減額しない」などの条件は撤廃するように市から県に強く要望するよう求めたのに対し、「県に継続的に要望しているが、さらに、民間が県有地を特養ホーム等公的施設として活用する際には、優先的な使用と減額を要望したい」との答弁がありました。

日進町内会館 にエレベーター完成

川崎市「町内会館整備のための補助制度」を活用した、日進町内会館のエレベーターがこのほど完成しました。

この補助制度については、宮原春夫前市議が議会で要望してきた事を、片柳市議が引き継いで6月議会の一般質問で取り上げました。



完成したエレベーターを視察する宮原前市議と片柳市議(右)



新日本婦人の会
石倉恵美子さん

中学校給食の審議を傍聴して

自分自身が共働きで、朝の忙しい時間にお弁当づくりをしてきました。そんな経験から「出来たてで、おいしく安全安心な中学校給食」を求める運動には他人事ではない思いがあり、可能な限り運動に参加してきました。

給食の予算規模が大きいことを問題にして「大型開発ができなくなるのではないか」「財政の見通しがあるのか」などの発言が出され、総務委員会は4日間にわたり協議を続けました。

私が傍聴した日は副市長が出席し、「中学校給食の財源は優先的に確保する。財政の見通しも心配いらない」と発言されました。南部給食センターは一万五千食もつくる「給食工場」のようなところ、私たちの望んだ自校方式とは程遠いものになりそうですが、とりあえずは予定どおり二年後に稼働する見通しになりました。しかし、

市民の要求が実り、ようやく二年後の実施が決まり、着々と準備が進んでいるのかと思っていたところ、自民・民主・公明が中学校

本当に安全安心のおいしい給食になるか、期日どおりに実現できるかどうかは、今後も監視を続けな

ければ、と感じました。

災害・豪雨対策―
気象変動にあわせ対策を

9月17日の決算特別委員会で片柳すすむ市議は、防災対策について質問しました。

まずマンホールトイレの整備状況については、昨年度は6校で整備を完了し、今年度は南大師中学校や臨港中学校など9校で整備中との答弁があり、片柳市議は引き続き適切な形で整備を進めるよう要望しました。

次に、多摩川・鶴見川系での水害対策について質問。多摩川では48時間あたり457ミリ、鶴見川では405ミリの雨量で堤防が破れた場合を想定しており、国や県

(3) 莫大な経費と事務

カード発行作業などマイナンバー導入経費の、市の負担分は8億円

「問い合わせが急増」しています。行政独自の窓口の設置はしないということ。通知カードが届けばさらに問い合わせが増えます。せめて相談窓口を設置すべきです。

国民や中小企業に利点は少なく、負担ばかりがかかるマイナンバー制度、市はこの制度の中止を国に求めるべきです。

くらしの情報

「川崎市八ヶ岳少年自然の家」は、6月30日(火)から利用を一時中止していましたが、発生していた害虫駆除が終了したため、12月19日(土)から利用再開されます。

の指標や情報、現状の目視なども含めて避難勧告を出しているとの答弁でした。

片柳市議は、気象変動などで「数十年に一度」レベルの災害が度々発生しているなか、現実にあわせた対策をとるよう求めました。

体育館の施設開放有料化―
せめてPTA等には減免を

片柳市議は、9月17日の決算特別委員会で2013年から有料化された学校体育館の施設開放について質問。有料化の前と後では、利用件数・利用人数ともほぼ横ばいですが、利用料は2013年度から14年度にかけて約3割減っているとのことでした。

片柳市議は「有料化前は毎週活動していたけれど、有料化されてからは会費を値上げするわけにも行かず、月2回に活動日数を減らしている」との利用者の声を紹介して、せめてPTAなどの団体が体育館を利用する際には減免するよう求めました。

朝鮮初級学校―子ども
の学習権を守れ

10月4日、川崎朝鮮初級学校を会場に開かれた「大交流祭」に参加しました。「コリアンそらめん」「チヂミ」など日朝友好の味を堪能しました。また『ニンニクジャージャーショー』など子どもむけの企画も充実しており、来年は家族そろって参加したいと思えます。



No.5 片柳すすむ
日進月歩

この朝鮮初級学校、一昨年にも大きな動きがありました。黒岩県知事が外交問題金を口実に補助金を打ち切り、福田市長も市の教材費や授業料への補助金を、別名目の補助金に変えてしまったのです。

9月議会で「もってと削れ」という質問もありました。

私は地元の議員として、学校関係者から伺った「実質補助金は4分の1」「先生の給料も出せない」などの切実な実態に寄り添い、『国際人権規約』などにも明記されている当然の権利・子どもたちの学習権を守る立場で取り組んでまいりたいと思えます。

マイナンバー制度(3)
川崎市での問題点は?

委員会
総務員

9月市議会で「マイナンバー法」にもとづく条例が可決されました(共産党は反対)。

(1) 情報漏れの危険

11月から12月半ばにかけて各家庭に「通知カード」が届けられます。川崎市の条例にはどのような問題があるのでしょうか。

(2) 利用範囲の拡大

マイナンバーの適用範囲は、社会保障、税、災害など3分野に限るとされていますが、先の国会で預金口座や健康診断情報などにまで広げる法案が成立しています。さらに政府は提供範囲をクレジットカード等にも拡大しようとしています。

今回の条例でも、コンビニでの各種証明書の発行などに範囲が拡大されています。利用する範囲が広がれば広がるほど、情報が漏洩

総務委員会の質疑の中で、市は「外部委託の業者もマイナンバーを扱う」

「業者の責任でチェックする」と述べました。市の業務の管理を委託